

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進	施策の目的	生涯を通じた学習活動を促進する	施策	生涯学習
--------------	--------------	--------------	-----------------	-----------	------

主要事業と関連部署

施策の方向	事業名	部署名
生涯学習推進体制の整備	生涯学習活動の支援	生涯学習課
学習施設の整備と活用	生涯学習事業	生涯学習課
学習活動の支援	家庭教育学級事業	生涯学習課
図書館活動の推進	図書館貸出事業	図書館
	読み聞かせボランティア養成・派遣事業	図書館

目標

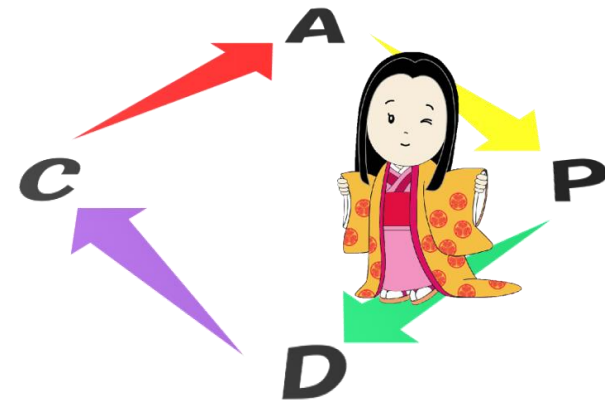
指標名	指標の考え方	方向性	2017年	2022年
生涯学習・文化・芸術振興	2017年実施の市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合	後期基本計画策定のための市民意識調査による「満足」, 「やや満足」の割合の5%上昇を目指す。	24.2%	29.2%
家庭教育学級への出席率	小学校1年と中学校1年の保護者の出席率	社会教育指導員などの支援により増加を目指す。	82.0%	90.0%
市立図書館の貸し出し点数	年間市民1人あたりの貸し出し点数	図書館サービスの向上により増加を目指す。	1.5点	4.5点
読み聞かせボランティア養成・派遣	派遣か所数	読み聞かせボランティアを養成し派遣か所の増加を目指す。	33か所	36か所

令和2年度の実施状況への意見

行政改革懇談会(市民)からの意見

生涯学習は、学校教育と並んで重要な施策と考えられる。幅広い年齢における生涯学習の取り組みについて考えていく必要がある。常総市は外国人が多いため、文化や生活習慣、言葉、宗教などについてお互いを理解し合えるような、常総市ならではの交流や勉強会があるとよいのではないかと。図書館の在り方については、広域連携等を積極的に推進するとともに、図書館の貸出しに限らない役割の模索をしていただきたい。

目標の達成状況



事業の説明

事業名	生涯学習活動の支援			
担当	生涯学習課			
予算科目	一般会計			
	10款	5項	1目	2事業
事業の目的	市民の生涯学習活動の場を整備することで、生涯学習・文化・芸術の振興を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	生涯学習
施策の方向	生涯学習推進体制の整備

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	4,817千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		2 団体
実施内容と改善点		
社会教育委員会議を開催する。また、社会教育指導委員を配置することによって、生涯学習・文化・芸術振興の推進に努める。		

令和2年度	決算額	6,173千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		2 団体
当初の成果目標		2 団体
実施内容と改善点		
社会教育委員会議を開催した。また、社会教育指導委員を配置することによって、生涯学習・文化・芸術振興の推進に努めた。		

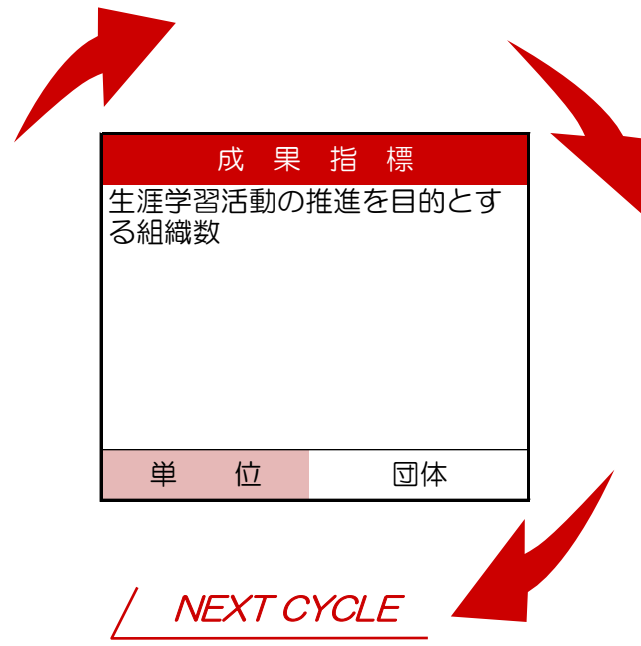
令和元年度	決算額	5,510千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		2 団体
当初の成果目標		2 団体

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	社会教育委員会議では、生涯学習推進の方針を確認した。
分析	生涯学習・文化・芸術振興を推進する上で社会教育指導員等が必要であり、そのためには知識と経験を持った人材が必要である。今後は新型コロナウイルス感染防止を図りながらの講座等の開催方法を検討していく。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		団体
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度	令和6年度	
団体		団体

事業の説明

事業名	生涯学習事業			
担当	生涯学習課			
予算科目	一般会計			
	10款	5項	1目	4事業
事業の目的	生涯学習社会の実現に向け、時代の変化に対応しながら市民の学習機会の提供と学習活動の支援に努める。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	生涯学習
施策の方向	学習施設の整備と活用

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	1,535千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		160 人
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、短期間で実施できる内容の講座内容を選択し、開催した。		

令和2年度	決算額	65千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		160 人
当初の成果目標		900 人
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染拡大の影響で、公民館まつりやイベント、前期講座を開催することは出来なかったが、後期に密にならない人数や短期間で実施できる内容の講座を開催した。		

令和元年度	決算額	900千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		1,013 人
当初の成果目標		900 人

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新型コロナウイルスの感染拡大によって当初計画通りの各種イベントや講座運営が出来ず、生涯学習のさらなる推進には至らなかった。
分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮し感染防止対策を講じた上で、密にならないよう募集人数の設定と感染リスクの軽減のため短期間の講座を開催し、学習の機会を提供した。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--



成果指標	
講座受講者の総数	
※過去の受講実績を勘案した数値とした。	
単位	人

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		人
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度	令和6年度	
人	人	

NEXT CYCLE

事業の説明

事業名	家庭教育学級事業			
担当	生涯学習課			
予算科目	一般会計			
	10款	5項	1目	3事業
事業の目的	保護者が家庭の在り方や親としての在り方を学び、子どもが心身ともに健やかに育つ家庭を築くため、家庭教育の振興およびその充実を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	生涯学習
施策の方向	学習活動の支援

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	143千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		88.0 %
実施内容と改善点		
原則としては対面での実施とし、市内19小中学校について、各校2～3回の開催を見込んでいる。また、未実施の市立保育園での未就学児に対する家庭教育学級の実施を働きかけていく。		

令和2年度	決算額	53千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		64.2 %
当初の成果目標		86.0 %
実施内容と改善点		
新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、延べ2回、138名に対して対面型の家庭教育学級を実施することとどまった。未実施の小中学校については、資料の配布をもって家庭教育学級の実施とし、家庭教育に関する情報を発信した。		

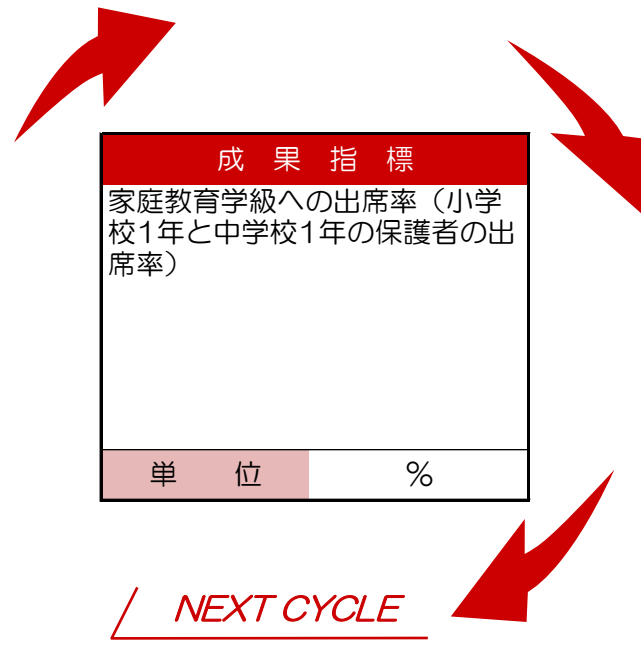
令和元年度	決算額	75千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		77.0 %
当初の成果目標		84.0 %

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、出席率が前年度から約13ポイント低下した。実施回数や参加人数についても、前年度と比較して90%以上の減少となった。
分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、保護者等、普段、児童・生徒と接触しない者の学校への進入を前提とした事業の実施が困難となったため、家庭教育学級の実施に大きな影響を及ぼした。なお、代替として資料配布を実施している。

【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--



【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%

事業の説明

事業名	読み聞かせボランティア養成・派遣事業			
担当	図書館			
予算科目	一般会計			
	10款	5項	12目	5事業
事業の目的	事業により市民に図書館ボランティアについて興味を持ってもらい、新規ボランティアの拡大を図り、読み聞かせ事業を充実させる。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	生涯学習
施策の方向	図書館活動の推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	60千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		90.0 %
実施内容と改善点		
<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ講座（初級者向け・上級者向け 各1回） 県立図書館出前講座 1回（当選の為、実施予定） コロナの感染状況を考慮しながら、ボランティアによる読み聞かせの再開を検討。 		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	受講対象範囲を図書館登録ボランティアから市民全体に拡張したことで、新規ボランティア登録の機会を増やした。
分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、参加者数が想定ほど増えなかった。また、出席者の大部分が登録ボランティアの方で、一般の方の参加が少数であったことから、今後は一般の方へのPR方法を検討する必要がある。

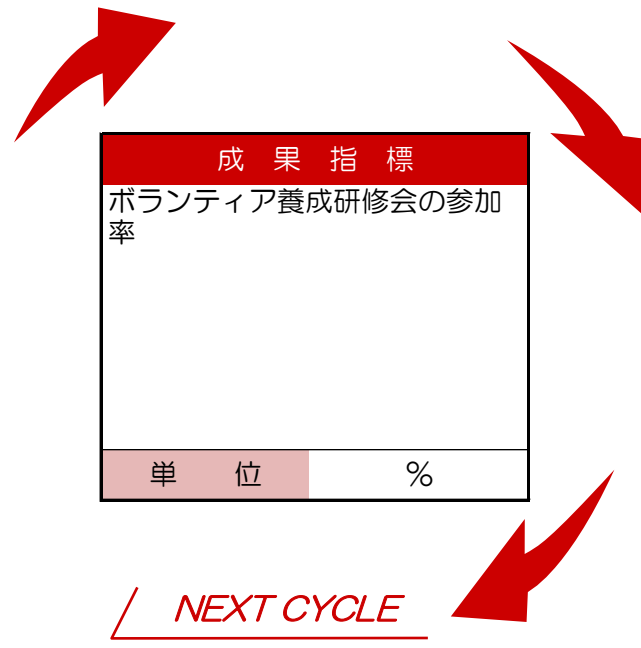
【Action】今後に向けた改善点

方針	

令和2年度	決算額	62千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		60.0 %
当初の成果目標		— %
実施内容と改善点		
<ul style="list-style-type: none"> 読み聞かせ講座（初級者向け16人参加・上級者向け8人参加）をフリーアナウンサーを講師に迎え実施。 県立図書館出前講座については落選。 コロナ禍によりボランティアによる読み聞かせは未実施。 		

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		%
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
%		%



NEXT CYCLE

令和元年度	決算額	15千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		コロナにより未実施 %
当初の成果目標		— %

事業の説明

事業名	図書貸出事業			
担当	図書館			
予算科目	一般会計			
	10款	5項	12目	3事業
事業の目的	市民のニーズに応え、資料を充実させることで、図書館の利用率向上を図る。			

総合計画上の位置付け

施策の大綱	学校教育・生涯学習の推進
施策の目標	生涯を通じた学習活動を促進する
施策	生涯学習
施策の方向	図書館活動の推進

【Do】これまでの実績と現在の取組み

令和3年度	予算額	9,252千円
	うち 特定財源	0千円
成果目標		2.0 点
実施内容と改善点		
受入資料 図書 6,853冊, CD 252点, 雑誌 127種, 新聞 21紙 限られた財源で、市民のニーズに応えた選書を心掛ける。		

【Check】令和2年度実績の評価と分析

評価	新刊やベストセラー、社会情勢に合わせた選書など市民ニーズに沿うよう心掛けてきたが、コロナ禍による臨時休館等の影響により、人口1人当たりの総貸出点数は前年度より下がった。
分析	コロナ禍においても、消毒、換気、密回避など、感染防止に努めながら図書館運営を継続するとともに、市民ニーズに応えた資料を導入するなど、市民が利用しやすい環境を整えることで、まずはコロナ禍以前の水準2.0点まで回復させる。

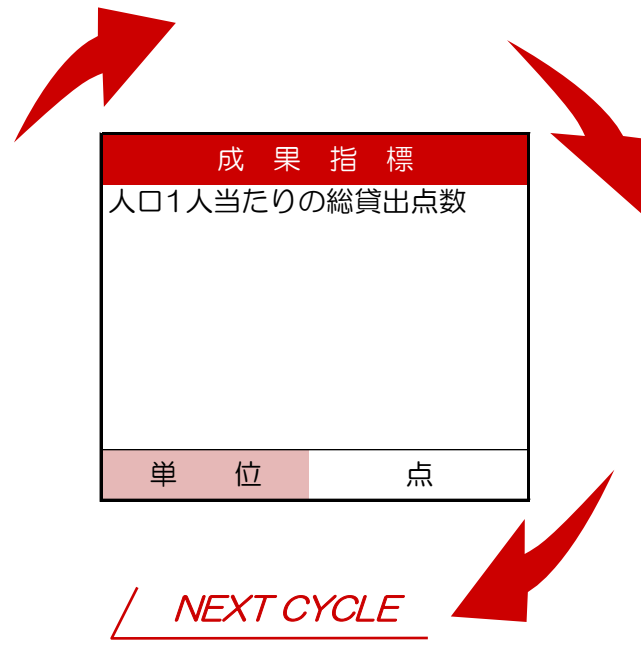
【Action】今後に向けた改善点

方針	
-----------	--

令和2年度	決算額	10,925千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		1.7 点
当初の成果目標		1 点
実施内容と改善点		
受入資料 図書 6,609冊, CD 384点, 雑誌 126種, 新聞 18紙		

【Plan】今後の計画

令和4年度	予算額	
	うち 特定財源	
成果目標		点
実施内容		
今後の成果目標		
令和5年度		令和6年度
点		点



令和元年度	決算額	11,046千円
	うち 特定財源	0千円
成果実績		2.0 点
当初の成果目標		1 点